

熊本県公立高校入試徹底分析【国語】

【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	50点
問題構成	大問5題。知識事項、資料読み取り、論説・説明文、小説、古典ごとに大問1題。 大問1は漢字、語句、文法が出題され、配点は9点。 大問2は資料の読み取り、会話文形式の出題がされ、配点は7点。 大問3は論説・説明文が出題され、配点は10点。 大問4は小説が出題され、配点は10点。 大問5は古典が出題され、配点は8点。 作文は大問3に組み込まれ、上記の配点に6点が追加される。		

	令和8年度(2026)	令和7年度(2025)	令和6年度(2024)	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)
問題量 (A4で)	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分	10ページ分
小問数	31問	30問	32問	30問	31問
論述問題の数	8問	9問	6問	7問	10問
論述問題配点	21点	24点	18点	21点	24点
受験者平均点	30.0点	29.0点	27.2点	25.4点	24.8点

【出題の傾向と対策】

①書体、辞典に関する知識を深める。

R4[1]



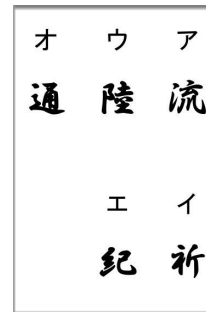
R6[1]



R7[1]



R8[1]



R4[1]4 [Ⅰ]、[Ⅱ]、[Ⅲ]の部分に入れるのに適当な言葉を、それぞれ [Ⅰ]と[Ⅱ] はあとのa群(ア・イ)から、[Ⅲ]はあとのb群(ウ～キ)から一つずつ選び、記号で答えなさい。

【違いを述べた文】 [Ⅰ]は[Ⅱ]に比べ、点画を[Ⅲ]書くので速く書くことに適している。

a群 [ア 楷書 イ 行書]

b群 [ウ 崩さずに エ 明確に オ 直線的に カ 独立させて キ 連続させて]

R6[1]3 二重下線Bの部分「純」を楷書で書いた場合の総画数と、次のア～オの漢字を楷書で書いた場合の総画数が同じものを一つ選び、記号で答えなさい。

R7[1]3 次は、二重傍線Bの部分「紅」を行書で書いたものであり、楷書とは筆順が異なっている。「紅」のように、楷書とは筆順が異なっているものを、あとのア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

R8[1]2 二重傍線Aの部分「秋」を楷書で書いた場合の総画数と、次のア～オの漢字を楷書で書いた場合の総画数が同じものを一つ選び、記号で答えなさい。

★R6「漢和辞典」に関する出題があった。日頃から国語に関わるものに興味、関心を持つ必要がある。

②文法事項の解法、慣用句やことわざ、故事成語の意味と用例を暗記する。

R8[1]3 二重傍線Bの部分「青空」と同じ組み立てになっている熟語として、最も適当なものを次のア～オから選び、記号で答えなさい。

ア 有力 イ 明暗 ウ 着席 エ 学習 オ 強風

R8[1]4 二重傍線Cの部分「日々の食事に対する感謝の気持ちがさらに深まりました」を文節に分ける場合、いくつに分けられるか。数字で答えなさい。

★直近の8年間で品詞分類、活用の種類・活用形のいずれか、もしくは両方が常に出題されている。

★原稿用紙の正しい使い方を意識しながら、中学3年生らしい言葉遣いで文章を書くこと。
★R7まで縦25マスの最大7行であったが、R8は縦20マスの最大9行に変更された。
★R6とH31は大問2で出題された。

解答

R 4[1]4 I イ II ア III キ R 6[1]3 オ R 7[1]3 ウ R 8[1]2 エ
R 8[1]3 エ R 8[1]4 7
R 8[2]1 くださった 2 年齢
3 (例) 推奨睡眠時間よりも短い 4 (例) 睡眠の質が低くなる理由
R 8[3]5 (例) 芸術とは、当たり前を新しい視点で捉え直すものだと考える。以前、美術館で一枚の抽象画を鑑賞した際に、最初はそれが何を描いているのか分からなかった。しかし、雨の音が色と線で表現されていることを知ってから、雨粒の輝きやリズムの面白さに目を向けるようになった。芸術の多様な表現に触れ、感性を磨き続けることで、他者の価値観を理解する助けにしていきたい。